

台風19号 関連記事

長野市応急仮設住宅 15戸増	2面	被災地を歩く	32面
災害対策不備相次ぐインフラ	3面	浸水新幹線 解体作業始まる	34面
融資相談数 西日本豪雨並み	7面	拠点構え支援 ニーズ見えた	35面

台風19号 生活情報 33、東信・北信面



1873年(明治6年)創刊
 発行所
 信濃毎日新聞社
 長野本社 〒380-8546
 長野市南県町 657番地
 電話(026)
 受付236-3000編集236-3111
 販売236-3310広告236-3333
 松本本社 〒390-8585
 松本市中央 2丁目20番2号
 電話(0263)
 代表32-1200 報道32-2830
 販売32-2850 広告32-2860
 ©信濃毎日新聞社2019年

新果をもって十月から

茅屋の韻
 けこんみょういん

品質進化 竹風堂

http://chikufudo.com

国土強靱化事業費上積み

政府 防災・減災 インフラ強化

安倍晋三首相は8日、関係閣僚に経済対策の策定を示した。台風19号など相次ぐ自然災害を踏まえ、インフラ整備や被災地の復旧・復興に対応。海外経済の下振れリスクが高まる中、景気を下支えする。年末にかけて2019年度補正予算案と20年度当初予算案の二段構えで編成し、それぞれに対策費を盛り込む。対策の規模は国費の総額で数兆円になる見通し。

経済対策の策定は16年8月、向上などのため新たに経済対以来、約3年ぶりとなる。首相を策定する」と表明した。相は8日の閣議で「復旧復興 菅義偉官房長官が明らかにし、の取り組みを加速し、海外発した。首相指示を受け、政府は20

年度までの3年間で実施中の「国土強靱化」に向けた重要インフラ緊急対策で、事業費を総額7兆円から上積みする方向で検討に入った。対策を執行しつつ、今回の台風被害を踏まえた新たな事業も拡充する方針だ。低金利で資金調達できる環境を追い風に財政投融資も積極的に活用。20年東京五輪後の国内景気の下支えに取り組む。

台風15号や19号など一連の

ラの強化を加速させる。当面 決定の1316億円の予備費に中長期的な課題に対応すの復旧・復興費用は8日閣議から支出し、経済対策でまらる。

千曲川補修に7億7000万円

国土交通省は8日、台風19号などによる豪雨災害を受けた千曲川の「対策パッケージ」で、千曲川に7億7000万円を配分し、護岸の補修や土砂の撤去に充てると明らかにした。国管理の25河川に48億3千万円を配分する対策パッケージの「河川維持修繕事業」の一環。千曲川への配分額は宮城、福島両県を流れる阿武隈川(12億7千万円)に次いで2番目に多い。千曲川は護岸損壊が複数箇所にあり、防災・減災インフラの強化を加速させる。当面 決定の1316億円の予備費に中長期的な課題に対応すの復旧・復興費用は8日閣議から支出し、経済対策でまらる。

天気

最高気温	最低気温	飯山	14	1
		長野	14	2
		大町	13	1
		本	15	2
		上田	17	2
		佐久	15	0
		諏訪	14	2
		木曾	17	0
		伊那	17	1
		飯田	18	5

5%以上 5%未満
 28面に詳しい天気情報

被災地を歩く

長野市長沼・豊野 8日



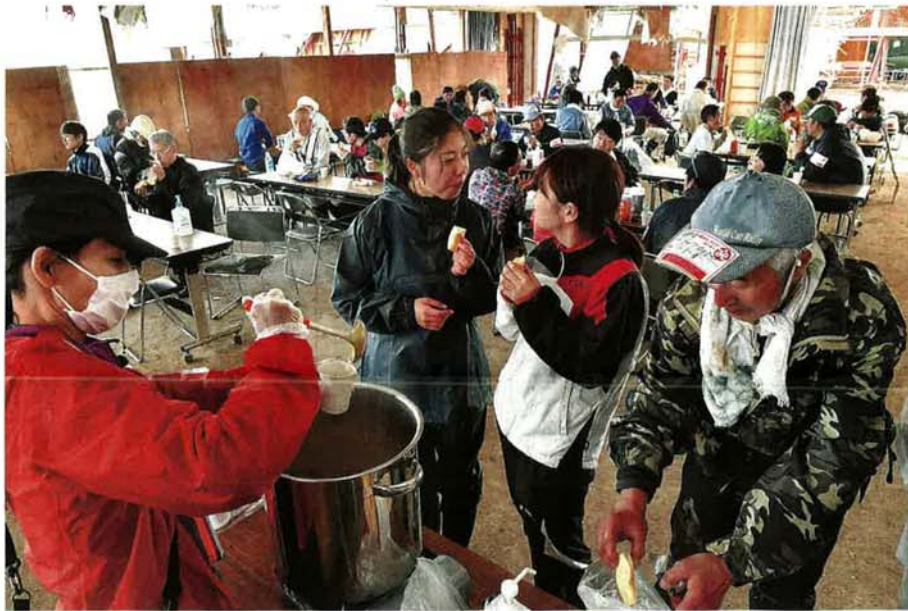
赤沼公園に積み上げられた災害ごみ＝8日午後2時55分、長野市長沼



保育園内に開設された臨時託児所で、ボランティア(右)に陽太ちゃんを預ける山本さん＝8日午前9時19分、長野市長沼

変わり果てた街

自宅を片付けの手を止め、2階のベランダから変わり果てた街を見つめる渡辺さん＝8日午前11時57分、長野市津野



心も体も温まる

津野サテライトで炊き出しのキノコ汁や長沼産りんごを味わうボランティア＝8日午後0時15分、長野市穂保

市が臨時託児所を開設した同市長沼大倉の豊野ひがし保育園。次男の陽太ちゃん(1)を預ける山本真理さん(24)＝長野市長沼市津野。床上浸水した自宅の片付けに追われている。山本さんは陽太ちゃんら2人の子ともと上水内郡飯綱町の自身の実家で暮らしている。「被災した家には連れていけない。(臨時託児所は)非常にありがたい」と話した。(文・実延達郎、写真・犬弘樹)



泥で汚れた台所を片付ける赤芝さん＝8日午後3時35分、長野市大町



千曲川の堤防が決壊した場所に近く、濁流にのまれた車や被災した建物が残る住宅地＝8日午前10時38分、長野市穂保

これからの生活は……



台風19号の記録的な大雨で、千曲川の堤防が決壊するなど、同市長沼の渡辺さん(88)は、広範囲が浸水した長野市は、2階のベランダから変わり果てた長沼地区や豊野地区、生活再建の道りは険しい。被災者は暮らしている。同市長沼の自営業、赤芝清(70)の自宅は床上浸水地区。被災から間もなく、半壊。家族4人で避難所生活を送っている。自らの台所が使えるようになるのは12月以降という。避難所について「これからの生活はどうするか。今の心配の種です」と語った。

10月13日 空から見た被災地 11月5日



豊野町の住宅地

台風19号で千曲川支流の清川(左)の内水氾濫などで、浸水した長野市長沼市豊野町。住宅地を抜ける道路や、川が姿を現していた



穂保の決壊現場

台風19号による大雨で千曲川の堤防が決壊し、浸水した長野市穂保付近。決壊場所は本堤防が完了するまでの「締切堤防」が造られ、復旧に向けた工事が進む



新幹線車両基地

千曲川の氾濫で浸水した長野市長沼。中央は長野新幹線車両センターに並ぶ北陸新幹線の車両。水が引き幹線の周囲に田畑が現れていた。水に漬かった車両は廃車となる



長野新幹線車両センター

浸水車両解体作業始まる

台風19号に伴う千曲川の氾濫で水没したJR東日本の長野新幹線車両センター(長野市赤沼)で8日、浸水により廃車が決まっている北陸新幹線(長野経由)の車両10編成、120両の本格解体に向けた作業が始まった。



車両解体に向けた関連作業が始まった長野新幹線車両センター。右奥の編成は数両が切り離されている。8日午後9時32分、長野市赤沼

JR東日本広報部によると、解体前に再利用できる部品があるか調査する作業で、部品の一部を車体から取り外し、搬出している。
また、車両センターのレールや配線など、地上設備の復旧と整備のため、一部の車両を移動させた。この日夜は6日午後時点で車両センター外から確認できた7編成のうち1編成の先頭車両部分が見えなくなっていた。
本格的な解体作業の場所や時期について、同広報部は検討中」としている。

北陸新幹線車両 2編成を新造へ

JR西廃車車両の代わりにJR東日本の来島達夫社長は8日、東京都内で記者会見し、台風19号のため水に漬かった同社所有の北陸新幹線車両「W7系」2編成について「座席まで浸水しており、車両としての使用は難しいと判断した。廃車の手続きに入る」と明言した。失う車両の代わりに、新たに2編成を造る方針も表明した。今後の浸水対策として、車両を事前に避難させる方法の検討を進める考えも示した。

長野市の「長野新幹線車両センター」ではJR東日本所有のW7系8編成96両と同型のW7系2編成24両の計10両が浸水している。このうち2両は、JR東日本が被災地でボランティア活動をした人の帰宅を支援するため、帰りの新幹線自由席をほぼ半額にする特別切符を15日から12月15日まで発売すると明らかにした。ボランティア活動の証明書などは不要で、指定席券売機で販売する。

「あさま」復路 半額の特別切符 JR東 ボランティア帰宅支援

北陸新幹線(長野経由)の「あさま」などが対象で、通常7810円の長野-東京間は3900円で利用できる。北陸新幹線では「あさま自由席片道きっぷ」と名付けた。あさまの指定席や「かがやき」「はくたか」では使えない。
東北新幹線「やまびこ」などの切符も同様販売する。ボランティア向け特別切符の販売は東日本大震災以来という。

編成120両が浸水した。「長野を元気に」飲食店主ら催し
南千歳公園であす

長野市中心街の南千歳公園で10日、台風19号災害のチャリティイベント「長野ワッショイ」が開かれる。長野駅周辺のバーや居酒屋など14店が出店し、地元ゆかりのアーティストのライブも。運営する飲食店主らは、10月の消費税増税と台風災害後、客足が遠のいていると感じており、「街に元気を取り戻しながら被災地を応援したい」と、多くの来場を呼び掛けている。
当日は午前11時〜午後5時。各店は生ビールやカクテルの他、ご当地バーガーやおでんを提供し、収益の全額を県内の台風被災地に寄付する。お笑い劇団WAHWAHの本舗の大久保ノブオさん(長野市出身)が司会を務めるライブは、千曲川氾濫で大きな被害が出た同市豊野町出身のシンガー・ソングライター清水まなぶさんらが出演する。地元の善光寺口商店会が主催。今回の災害で炊き出しボランティアにも参加したという実行委員長の千葉和久さん(47)は「街が元気であつてこそ、被災地の力にもなれるはず」と話している。